

第3章 地域公共交通の現状

1. 玉名市の地域公共交通の現状

《POINT》 地域公共交通手段が豊富

(1) 地域公共交通の運行状況

本市では、市域をまたぐ広域移動・地域間移動の手段として、新幹線（JR九州新幹線）、鉄道（JR鹿児島本線）、路線バスが運行しているほか、地域内移動の手段として、市内で完結する路線バス（玉名市街地循環線等）、一般タクシー、乗合タクシーが運行しています。

【玉名市内の地域公共交通の運行状況】

交通機関	路線	便数/日				
		平日		土日祝		
		上り	下り	上り	下り	
新幹線	JR九州新幹線	23便	22便	23便	22便	
鉄道	JR鹿児島本線（玉名駅）	32便	38便	33便	39便	
	JR鹿児島本線（大野下駅）	32便	32便	32便	32便	
	JR鹿児島本線（肥後伊倉駅）	38便	38便	38便	38便	
路線バス	玉名桜町線	7便	7便	3便	3便	
	玉名植木線	5便	4便	5便	4便	
	小天桜町線	8便	10便	6便	8便	
	天水桜町線	3便	4便	2便	2便	
	玉名山鹿線（東郷高野経由）	6便	6便	4便	4便	
	玉名山鹿線（米の岳経由）	4便	4便	3便	3便	
	九州看護福祉大学線 （玉名駅～九州看護福祉大学）	19便	27便	3便	3便	
	九州看護福祉大学線 （玉名駅～新玉名駅）	8便	5便	2便	2便	
	玉名市街地循環線	右回り	11便		11便	
		左回り	11便		11便	
	くまもと県北病院線（玉名温泉経由）	3便	1便			
	くまもと県北病院線（市役所経由）	4便	4便			
	荒尾玉名線	15便	13便	8便	8便	
	玉名南関線（北稜高校経由）	2便	2便	2便	2便	
	病院南関線	5便	4便			
乗合タクシー	しおかぜタクシー	8便		4便		
	いちごタクシー	8便		4便		
	いだてんタクシー	8便				
	おれんじタクシー	9便				

注)路線バスは、玉名市内行き路線を上りとする。

注)路線バス・乗合タクシーは令和6年3月時点の便数。

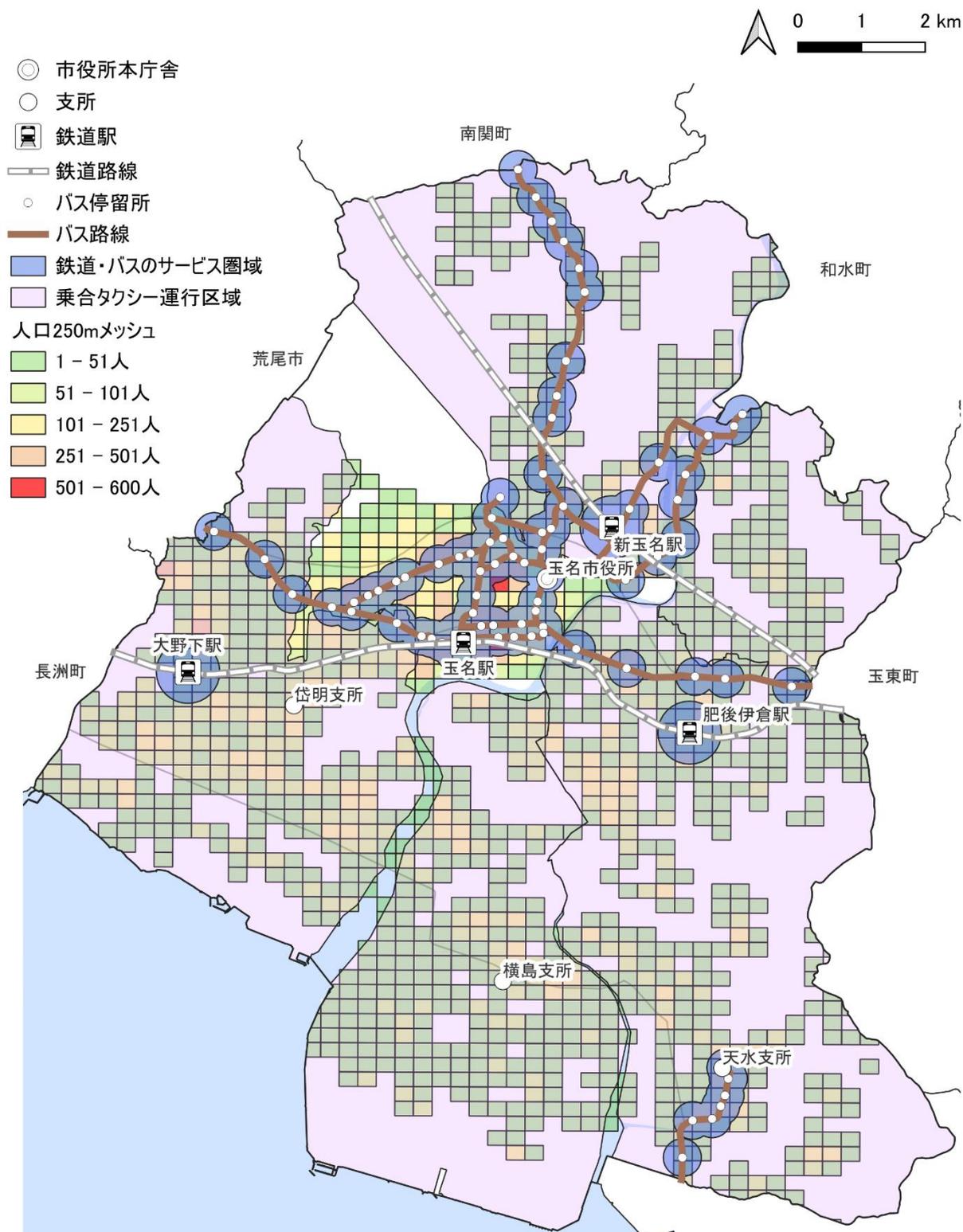
【玉名市 地域公共交通網図】



(2) 地域公共交通のサービス圏域

鉄道、路線バス、乗合タクシーによって市内のほとんどの地域において、地域公共交通サービスが提供されています。

【玉名市地域公共交通のサービス圏域と人口の分布状況】



注) サービス圏域: 鉄道駅から半径500m、バス停から半径300m をサービス圏域として記載している。

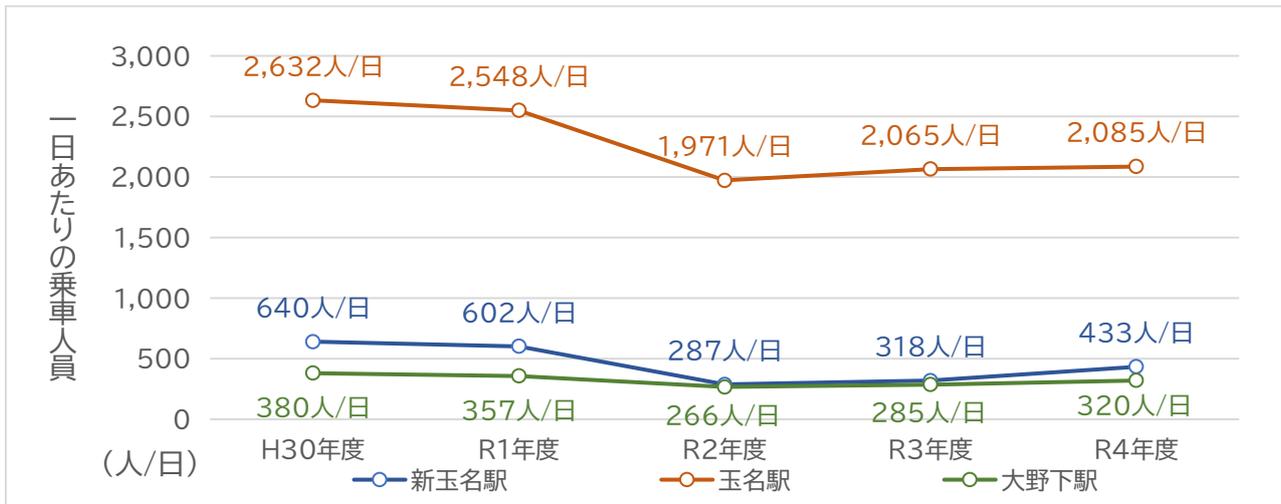
2. 鉄道

《POINT》 玉名駅利用者が多い / 新玉名駅利用者が少ない

本市には、市を横断するようにJR九州新幹線、JR鹿児島本線が通っており、新幹線駅である新玉名駅のほか、玉名駅、大野下駅、肥後伊倉駅の3つの駅があります。

令和4年度の駅別の乗車人員数をみると、玉名駅の利用者が最も多く、1日あたり2,000人以上が利用する駅となっています。一方で、新玉名駅の令和4年度の乗車人員数はJR九州新幹線の駅の中で最も少ない433人/日となっています。

【乗車人員の推移(人/日)】



出典：JR九州「駅別乗車人員上位300駅」 肥後伊倉駅はデータ公表なし

【新玉名駅】



【玉名駅】



3. 路線バス

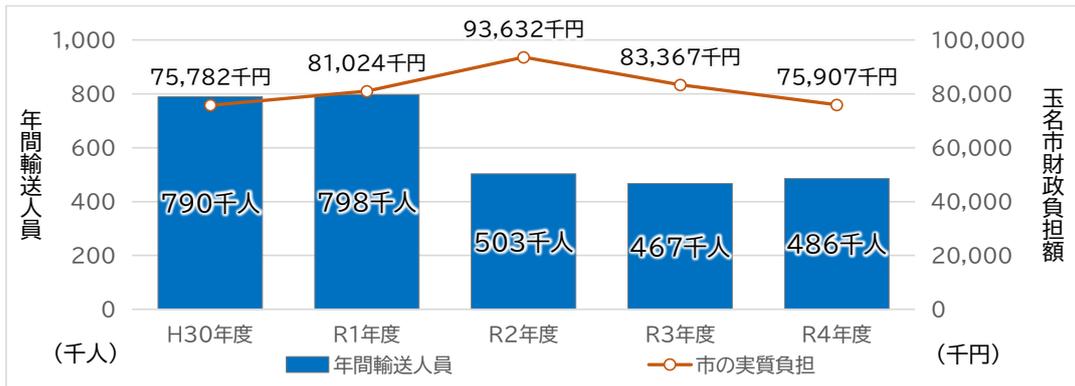
《POINT》 新型コロナウイルス感染拡大の影響による路線バス利用者の減少

市内の路線バスは、産交バス(株)が14路線の運行を担っています。

これまでバス路線の見直しを行ってきた結果、市域をまたぐ路線として熊本方面、荒尾方面、山鹿方面、南関方面をつなぐ9路線のほか、市街地循環線をはじめとした市街地周辺で完結する5つの路線が運行しています。

輸送人員数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた令和2年度以降の利用者が減少しているものの、令和4年度は前年度より増加しています。

【路線バス 年間輸送人員と玉名市実質財政負担額の推移】



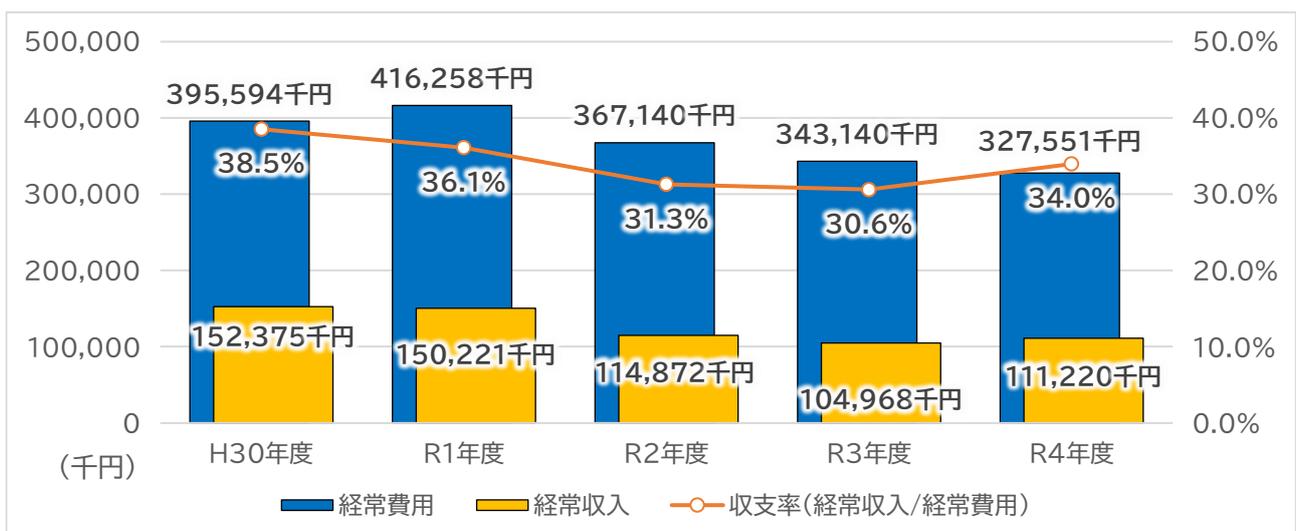
出典:玉名市資料

注)実質財政負担額は、国・県や大学機関等からの補助金等を除く、玉名市が単独で支出する実質負担額として掲載(特別交付税*が含まれる)。

注)各年、10月1日~9月30日までを事業年度として掲載。

路線バスの収支率は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、平成30年度から令和3年度まで減少傾向にありましたが、令和3年度から令和4年度にかけて若干の増加となり、令和4年度時点で34.0%となっています。

【路線バスの収支率の推移】



出典:玉名市資料

注)各年、10月1日~9月30日までを事業年度として掲載。

【令和元年度以降のバス路線再編の経緯】

年月	起点	経由地1	経由地2	終点	再編内容
R1.9	田崎(玉名)	大倉団地入口	玉名市文化センター前	玉名駅前	廃止
R1.9	交通センター	河内亀石	伊倉	玉名駅前	廃止
R1.9	交通センター	河内亀石	草枕温泉てんすい	玉名駅前	廃止
R1.9	交通センター	西高校前	河内亀石	玉名駅前	廃止
R1.9	交通センター	河内亀石	下片諏訪	玉名駅前	廃止
R1.9	交通センター	植木	船島	玉名駅前	廃止
R1.9	熊本交通センター	植木	梅林小学校前	玉名駅前	廃止
R1.10	天水支所			玉名駅前	新設
R1.10	玉名駅前	ゆめ마트玉名前	伊倉宮の前	河内温泉センター	新設
R1.10	玉名駅前			木葉駅前	新設
R1.10	木葉駅前			玉名駅前	新設
R1.10	桜町バスターミナル	西区役所前	河内亀石	小天温泉	新設
R1.10	桜町バスターミナル	西区役所前	河内亀石	天水支所前	新設
R2.9	新玉名駅	玉名市役所前	長洲港	バスセンター(荒尾)	廃止
R3.3	くまもと県北病院	玉名温泉	北稜高校前	玉名駅前	新設
R3.3	くまもと県北病院	玉名市役所前	玉名下町	玉名駅前	新設
R3.4	山鹿バスセンター	下津原	玉名市役所前	玉名駅前	廃止
R5.9	天水支所			玉名駅前	廃止
R5.9	玉名駅前	ゆめ마트玉名前	伊倉宮の前	河内温泉センター	廃止
R4.3	玉名駅前			木葉駅前	廃止
R4.3	木葉駅前			玉名駅前	廃止
R4.3	玉名駅前	玉名市役所前	月田	菊水口マン館前	廃止
R4.4	玉名駅前	北稜高校前	坂下	南関上町	経路変更
R4.4	くまもと県北病院	玉名温泉	北稜高校前	玉名駅前	経路変更
R4.4	くまもと県北病院	玉名市役所前	玉名下町	玉名駅前	経路変更
R4.4	くまもと県北病院	新玉名駅	坂下	南関上町	新設
R5.9	河内温泉センター	玉名市役所前	玉名温泉街	玉名駅前	廃止
R5.9	玉名駅前	ゆめタウン玉名前	伊倉宮の前	河内温泉センター	廃止
R5.9	天水支所前			玉名駅前	廃止

出典:玉名市資料

4. 一般タクシー

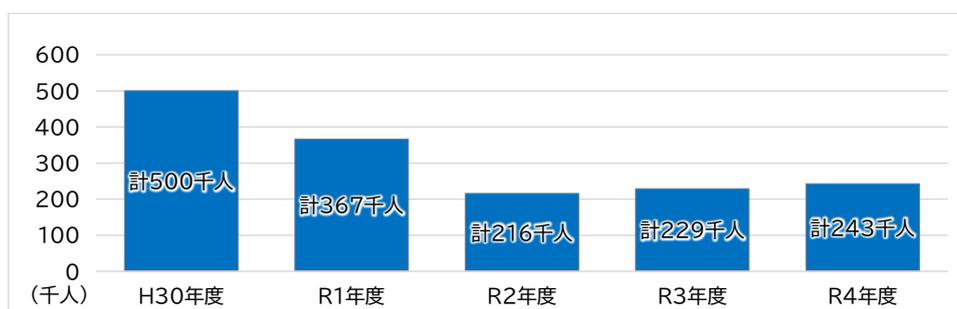
《POINT》 新型コロナウイルス感染拡大の影響による一般タクシー利用者の減少

市内の一般タクシー事業者は、4社となっています。4社の合計乗客数をみると、平成30年度から令和2年度にかけて大きく減少しており、令和2年度以降は微増しているものの、令和4年度の乗客数は平成30年度の乗客数の約半数となっています。

【玉名市内に事業所のあるタクシー事業者一覧】

会社名	事業所所在地
(有)高瀬合同タクシー	熊本県玉名市築地 1268-1
玉名タクシー(有)	熊本県玉名市大倉 1365-4
(有)岱洋タクシー	熊本県玉名市岱明町鍋 403
(有)アトム	熊本県玉名市天水町立花 1731

【一般タクシーの乗客数(4社合計)の推移】



出典:各社へのアンケート結果より作成

注)令和元年度の乗客数の減少理由は、一部のタクシー事業者の乗客が大幅に減少したことによる。

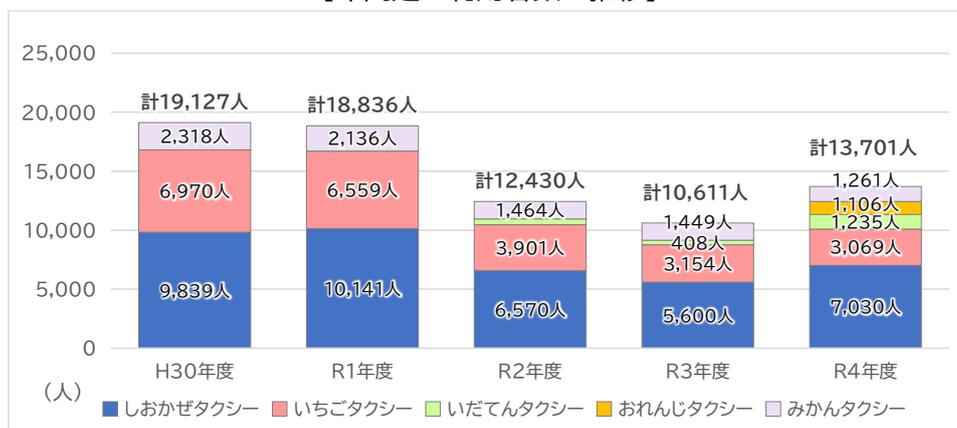
5. 乗合タクシー

《POINT》 乗合タクシー運行区域の拡大 / 実質財政負担額の増加

本市では、「しおかぜタクシー」(滑石・岱明地域)、「いちごタクシー」(大浜・豊水・横島地域)、「いだてんタクシー」(玉陵地域)、「おれんじタクシー」(天水・玉南地域)の4つの区域にて乗合タクシーを運行しています。

年間の延べ利用者数をみると、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた令和2年度以降減少しているものの、令和4年度は前年度より増加しており、回復傾向にあるといえます。運行区域別で見ると、しおかぜタクシーの利用者が最も多く、いだてんタクシーの利用者は少ない状況にあります。

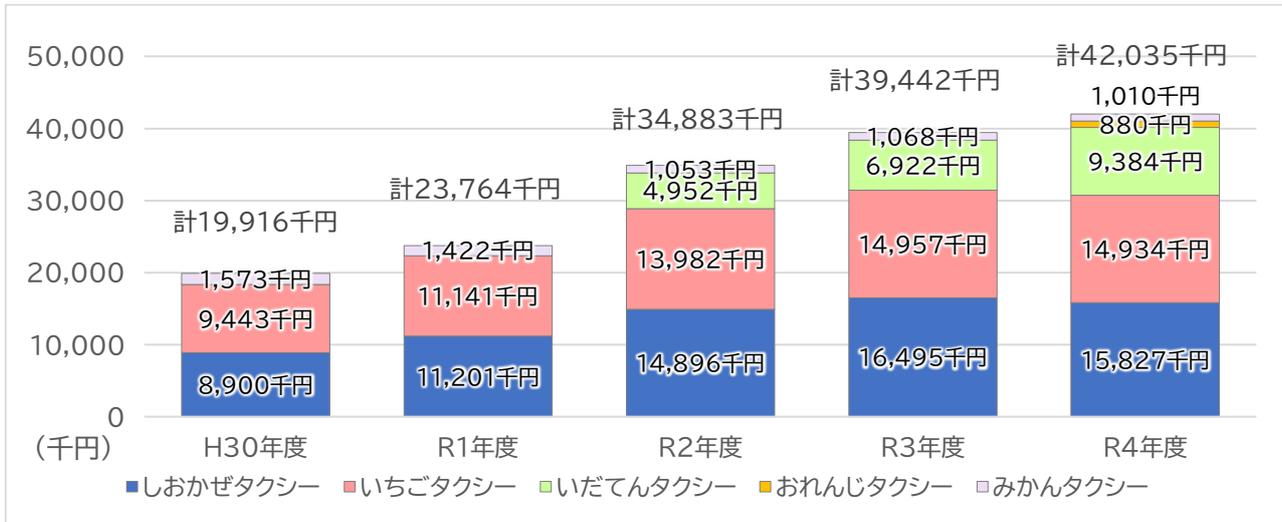
【年間延べ利用者数の推移】



出典:玉名市資料

乗合タクシー事業に関する本市の財政負担額は、サービスの拡充に伴い年々増加傾向にあります。

【玉名市の実質財政負担額】



出典:玉名市資料

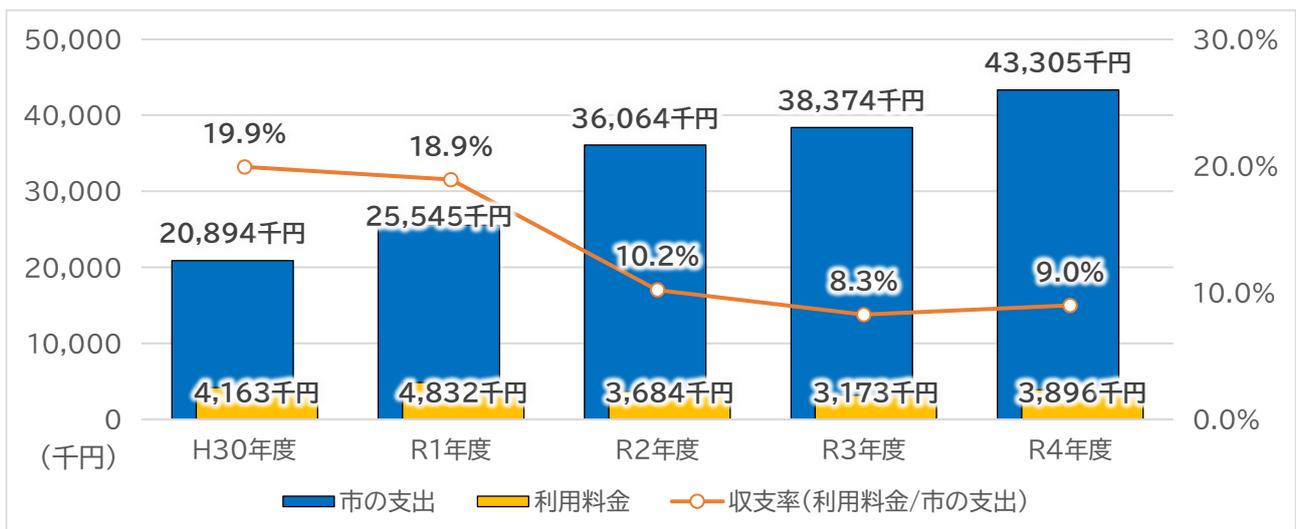
注)実質財政負担額は、国・県や大学機関等からの補助金を除く、玉名市が単独で支出する実質負担額として掲載(特別交付税が含まれる)。

注)「いだてんタクシー」は令和2年4月～令和2年9月まで無償運行、令和2年10月から本格運行を開始。

注)「おれんじタクシー」は令和4年12月～令和5年3月まで無償運行、令和5年4月から本格運行を開始。

乗合タクシーの収支率は、「いだてんタクシー」の運行を開始した令和2年度に大きく減少しており、令和4年度時点で9.0%となっています。平成30年度から令和4年度にかけて市の支出が倍以上となっている反面、利用料金は減少しており、サービスの拡大に伴い、収支率は悪化しています。

【乗合タクシーの収支率の推移】



出典:玉名市資料

注)「みかんタクシー」を除いた収支率を掲載。

注)「いだてんタクシー」は令和2年4月～令和2年9月まで無償運行、令和2年10月から本格運行を開始。

注)「おれんじタクシー」は令和4年12月～令和5年3月まで無償運行、令和5年4月から本格運行を開始。

6. 介護タクシー・福祉タクシー

市内で熊本県タクシー協会、熊本県福祉タクシー協会のいずれかの会員であり、介護タクシー・福祉タクシーを営業している事業者は4社となっています。

【事業者一覧】

会社名	事業所所在地
(有)ライフケア	熊本県玉名市中 751-4
福祉タクシーよしの	熊本県玉名市永徳寺 413-9
Sun Ria (サンリア)	熊本県玉名市岱明町庄山 862-1
福祉センターひまわり	熊本県玉名市岱明町鍋 1130

7. スクールバス

市内では以下の3つの小学校でスクールバスを運行しています。運行にあたっては、市から観光バス等の事業者へ運行事業を委託しています。

【スクールバスの概要】

実施している学校	玉陵小学校、大浜小学校、小天小学校
対象児童	下記の児童が対象 ① 通学距離が4km以上の児童 ② 学校の統合により通学条件が変更となる児童で教育委員会が認めるもの ③ ①、②のほか、特別の事情を有する児童でスクールバスを利用する必要があると教育委員会が認めるもの
片道料金	無料
実施主体	玉名市

注)令和5年12月31日時点。

【スクールバスの運行の様子】



出典:玉名市

8. その他の移動支援事業

《POINT》 移動支援事業の実施 / 福祉バス利用者の減少

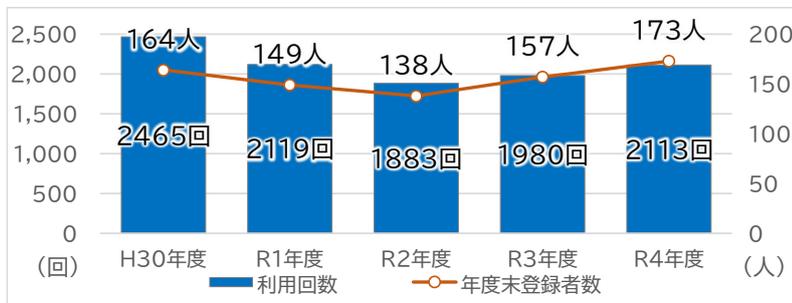
(1) 外出支援サービス

本市では、利用条件に該当する人に対し、自家用有償旅客運送※（福祉有償運送）により外出支援サービスを実施しています。外出支援サービスの利用者数、利用回数はともに近年増加傾向にあります。

【外出支援サービスの概要】

対象者	概ね60歳以上で、①・②のいずれかに該当する人 ① 要介護4または5に該当する人 ② 一人暮らしまたは高齢者のみの世帯で交通手段を持たない人（所得制限あり）
片道料金	市内：300円、市外：600円
利用可能回数	月4回（2往復）まで利用可能
行先	医療機関等への送迎
実施主体	玉名市

【年間延べ利用回数と年度末利用登録者数の推移】



【使用車両】

車種	台数
寝台車	1台
セダン等	4台
車いす車	2台

出典：玉名市資料
注）使用車両は令和5年9月時点。

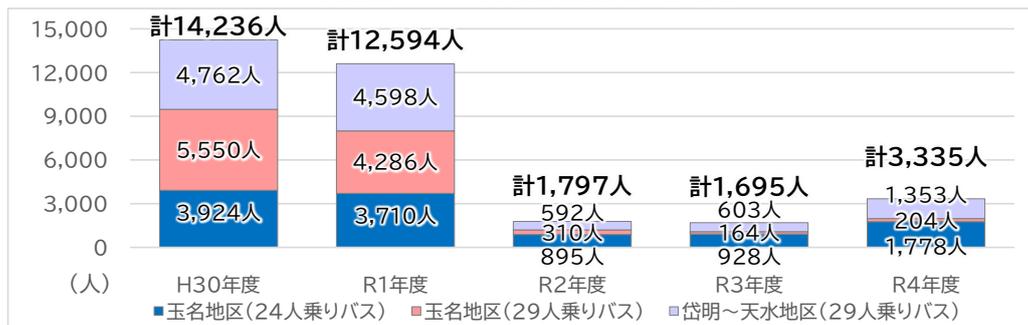
(2) 福祉バス

本市では、路線バスの運行がない地域において、60歳以上の市民を対象に福祉バスの運行を行っています。福祉バスでは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度に利用者数が大きく減少しており、令和4年度の利用者数は令和元年度の利用者数の約4分の1となっています。

【福祉バスの概要】

対象者	60歳以上の玉名市民	利用料金	無料	運行日	火曜～土曜（年末年始、祝日は運休）
運行	定められた乗降場所から温泉施設6カ所への送迎（曜日ごとに違うコースを運行）				
行先の施設	玉名市福祉センター、横島総合保健福祉センターゆとりーむ、岱明ふれあい健康センター コミュニティセンター潮湯、草枕温泉てんすい、天水老人憩の家				
実施主体	玉名市				

【福祉バスの年間利用者数の推移】



出典：玉名市資料

注）玉名地区(24人乗りバス)は令和元年度以降24人乗りとして運行しており、それ以前は22人乗りバスとして運行している。